

大豆の簡便な灌水要否判断指標

開花期～莢伸長期～子実肥大期の干害

↓
落花・落莢・子実肥大抑制

↓
減収, 莢先熟株による汚損粒発生



適切な灌水が必要 → 大豆が感じている水ストレスを的確に捉えるため, 気孔開度を測定し, 灌水の要否を判断する。



莢先熟株(莢は成熟しているが莢葉は成熟が遅れて高い水分を維持している株)

汚損粒



浸潤法による気孔開度の測定方法

- ①測定は晴天日の 15:00 に行う。
- ②圃場の中で乾燥している場所の中庸な 10 個体を調査する。



- ③開花期においては前半は上位第 3 葉, 後半は上位第 2 葉, 莢伸長期・子実肥大期においては, 上位第 1 葉の頂小葉を測定に用いる。



- ④葉裏中央部の中央葉脈付近にエタノール液を付着させ, 緑色が瞬時に濃くなるかどうかを観察する。

灌水要否判断指標 気孔開度を測定し, 次のような場合に灌水が必要です。

開花期・莢伸長期→90%エタノール液が浸潤しない個体が発生したとき

子実肥大期→85%エタノール液が浸潤しない個体が発生したとき